

校長室だより

第3号

発行日 2006年11月22日

発行者 齋藤 滋

高校サッカー部が神奈川県の大大会で優勝し、10年ぶりに全国大会に出場することになりました。12日の決勝戦には130名ほどの小学生が応援に来てくれました。野球やサッカーで毎年のように全校応援という機会に恵まれることを本当にうれしく思います。また、小学校では子どもたちだけでなくいつも保護者も一緒であるため、応援の雰囲気もとてもよくなります。全国大会でも小学生の応援の声が会場に響き渡ることでしょう。応援よろしくお祈りします。

さて、子どもたちには授業に集中しようと声をかけることがある私ですが、自分自身はどうかというとあまり集中力のある方ではないような気がします。ある仕事をしていても、途中で他のことが気になり始め、ついにはやりかけの仕事を途中で一時的にやめて、他のことをやり始めてしまうことも珍しくありません。机の上にはいつも複数の仕事を用意してあります。どうしてこんな自分になってしまったのでしょうか。まあ、私のことには皆さんは関心がないと思いますので、子どものことを話題にしましょう。

「ボーッ」としてしまふ子

授業中に学習活動に集中できない、先生の話聞きと聞かなくていけない、などの様子が見られる子はこの学校でもときどき見られます。同じ子が毎日どんな場面でもそうであるということはないので、何らかの原因を取り除くことができれば解決できるものなのだろうと思います。教師も、「勉強が分からないから」ということがないようにするために、授業の組み立てなどの工夫をしています。しかし、子どもが授業中に「ボーッ」としてしまふのは、「今の自分には授業よりも大事なことが、心配なことがある」という潜在的な意識があるからかもしれません。

たとえば、「休み時間に友だちと喧嘩をしてしまってどうしたらよいか」「もう少し時間があれば野球の打順が回ってきたのに悔しいな」「朝お母さんに叱られたけど家に帰ったときに機嫌よく迎えてくれるかな」「今日は というテレビ番組を見せてもらえるかな」など、子どもはこのようなことをつい考えてしまうのではないのでしょうか。これらの中の一つでも気になっていることがあれば当然先生の話は耳に入りにくいでしょうから、まわりから見ればまさに「ボーッ」として見えるのかもしれませんが。さらに寝不足であったりすれば、それどころではなく単に睡眠との戦いの時間ということになってしまうでしょう。そんなときに、先生から一声かけてもらうことで気づく子であれば特に問題はないのですが、中には何度か声をかけられている間に授業が終わってしまうということもあります。

上にあげた原因を「ストレス」ということばで表現できるかどうか分かりませんが、その原因を取り除くためには、本人の意識の持ち方（我慢をすることも含めて）も大事であることはもちろんのこと、子どもを安心させる大人の配慮というものが欠かせないということも分かってきます。せめて、子どもを学校に送り出すときは、「笑顔」を忘れないようにしましょう。

児童心理（金子書房）からの抜粋・・・「集中について」の一部を紹介します。

「気持ちを一つのことにしぼり、打ち込む」ためには、他の感情を排除し「我慢し続ける」ことが大切である。この「我慢」を心理学では「欲求不満耐性」と呼んでいる。これが現代の子どもたちには欠如しているといわれている。この欲求不満耐性が欠如している「耐性虚弱」の子どもは集中力も低いという。この「耐性虚弱」は忍耐力あるいは粘り強さの欠如と同義であるが、たとえば、次のようなことに現れる。

欲しいものが手に入らないと、ふてくされたり、かんしゃくをおこしたりする。

物事が自分の思い通りにいかないと、わがままな態度になる。（自己中心的）

物事が自分の思い通りにいかないと、衝動的に攻撃や暴力行為に出る。

自我が脅かされそうになると、耐えられずにその場を去る。（逃避）

自我が脅かされることが予想されると、つまり何らかの不安を感じると、その場に行かない。（回避）

勉強や課題がおもしろくないと、やらない。

勉強や課題がおもしろくないと、途中で止めたり、いい加減にやったりする。

比較的短時間で集中力が低下する。つまり、あきっぽい。

そして、こうした「耐性虚弱」現象を生む背景としては次のようなものを挙げている。

物質的に豊かで便利な生活環境。

少子化に伴う過保護・過干渉。

耐性を支える体力・運動能力の低下。

さて、お子さんには何かあてはまるものがあるでしょうか。考えようによっては、こういうことがあてはまるのが子どもらしい姿と言えるのかもしれませんが。そして、徐々になくなっていくことが成長と言うものではないでしょうか。

今後のグループ討論会の実施予定日は 11月28日、12月5日・12日・19日 とします。